

2011年度

科目名	身体運動文化論			
担当教員	安田 正純			
配当	人社1		コード	45010
開期	後期	講時	木曜日5限	単位数 2
授業テーマ	身体運動文化と生活文化の見地から見た、身体運動・身体表現の発展過程とその意義、目的について説明する。			
目的と概要	近代体育、近代スポーツにおける身体運動の起源は古代ギリシャや古代ローマ期に見られる。体育、スポーツ、教育での身体運動を通しての形成、表現がどのような方法、あるいはどのような目的で現代に至ったかを知ることから、それぞれの時代背景での生活文化との関連を知ることができる。また、身体運動での表現方法や技術発展の過程を知ることから今後の発展への課題解決の資料として活用できるものである。			
成績評価法	受講態度30%、筆記試験70%での総合評価			
テキスト	配布プリント			
参考書	スポーツ文化論 寒川 恒夫著 図説 スポーツの歴史(世界スポーツ史)へのアプローチ 稲垣 正浩 他編集			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	配布プリントを各自のノートに貼り付け口頭説明内容と各自調査資料を合わせ記録し、独自のノート作り。 時間終了時に伝える次回講義内容の予習を行うこと。			
講義計画				
1. 講義内容ガイダンス 2. 身体運動様式と生活文化様式の起源的検索 3. スポーツ活動と体づくり活動に見られる生活様式との関係 4. 古代ギリシャ時代における体育観、スポーツ観 5. 古代オリンピックの誕生と身体運動 6. 古代ヨーロッパに見られる身体運動文化と生活文化の変遷 7. ローマ時代に見られる騎士道教育と身体運動文化 8. 中世ヨーロッパに見られる生活文化と身体運動文化の関係 9. ヨーロッパルネッサンスと近代体育・近代スポーツの発祥 10. アメリカスポーツの身体運動文化的考察 11. 東洋文化様式に見られる身体運動文化の変遷 12. 現代体育・現代スポーツの文化的発展過程 13. 日本における生活文化様式に見られる体育・スポーツの発展過程 14. 生涯体育・生涯スポーツのあり方（ウェルネス）と身体運動文化の形成のあり方 15. まとめ				